



# こんにちは、 岡田よしひで

2021年8月29日 発行  
県議会活動報告ニュース  
NO.95

自宅 南国市浜改田 430-1  
TEL/FAX 865-2932  
携帯 090-4337-4527

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20

## 党県委・県議団が県に要望

新型コロナウイルスの感染拡大が猛威を振るう厳しい局面を迎えています。日本共産党高知県委員会・日本共産党県議団は24日、感染爆発を想定した万全の体制の確立を求める要望書を濱田省司知事に提出しました。対応していた井上浩之副知事に、検査や医療提供体制の拡充、ワクチン接種の推進、暮らしを守る対策などについて申し入れました。

25日に初めて高知県に「まん延防止等重点措置」が適用されました。これ



井上浩之副知事に要望書を手渡し申し入れ (8月24日)

に伴い、新たな対策がとられることになり。

## 新型コロナウイルス特別委開く

県内の感染急拡大をうけて24日、県議会は新型コロナウイルス調査特別委員会を開きました。

危機管理部長、健康政策部長、商工労働部長から県内の感染状況と県の対応方針について、それぞれ報告があり質疑をおこないました。

陽性患者は17日から急増し、本日(24日)88人と過去最高となつていす。そして自宅療養・自宅待機が大きくなつて、275人になつていす。また10代、20代をはじめ50歳代までの若い世代の陽性者、感染経路不明の陽性者が増えています。

県は、高知市、南国市、香南市に時短要請を出していますが、香美市でも陽性者が出ており、支援を求める声が上がっています。

私は、検査について、エアロゾル(飛沫など)空気中に液体や固体の粒子が広がった状態(感染が指摘されるデルタ株の感染抑制には、「濃厚接触者」や「クラスター発生」に限定せず、幅広く大規模検査を実施することが重要ではないかと感じました。しかし、県はこれ

までの方針を変えないとのこと。つまり感染が発生すれば、その周辺を検査するということです。また、新学期を迎える学校での検査も求めましたが、県は同様の方針です。

心配する人が多い自宅療養について、自宅療養者が安心して療養できるように体制整備を求めました。1日に2回連絡をとり、夜間も連絡がとれるようにすることです。妊婦はこれまでも同様全員入院、酸素濃縮装置が必要レベルであれば入院となります。体育館など隔離療養施設の設置は、医師や看護師の確保ができないとのこと。買い物やゴミ出し、見守りなど市町村との連携も求めました。高知市以外はワクチンは目標に足りるそう。

事業者への経営支援については、家賃補助も含め財政支援を検討するとの答えがありました。

## おむすび通信 (95)

やっと稲刈りができて、米価下落が心配です。米価対策を求めなければ。

ポストコロナの未来が見えるの帯にひかれ、『生物と無生物のあいだ』(福岡伸一著)を手に入れました。生命の姿について興味をそられました。